



○7月(しちがつ)○

●JULY(ジュライ)●

じめっとした梅雨もまもなく終わり、暑い暑～い夏がやってきます*開放的な気分になるのが夏の不思議なところですね~♪。お祭りに花火大会、海水浴やプール、BBQなどレジャーで盛り上がる季節☆多事故などに気を付け楽しみましょう(*▽*)b

住まいのかわらばん 第242号

より良い家づくりのための学習グループ
新潟の快適な住まいを考える会

(株)山際総合建設

新潟市西区鳥原170-3
TEL (025) 377-5366
FAX (025) 377-5089



☆☆七夕☆☆



「たなばた」又は「しちせき」とも読み、古くから行われている日本のお祭り行事。一年間の重要な節句を表す五節句のひとつにも数えられます。別名、「笹の節供」「星祭り」とも言われる。七夕の由来は、ご存知の織姫・彦星の星物語から始まります。琴座のベガが織姫(織女星)・鷲座のアルタイルが彦星(牽牛星)。この二つの星と白鳥座のデネブを結んだものが「夏の大三角」と呼ばれ、夏の星座を探す目印です。

毎年7月7日の夜に願いを書いた短冊や色とりどりの飾りを笹の葉に吊るし、星にお祈りをする習慣が今も残ります。(玄関先やショッピングモールなどで見られますね。)

五色(ごしき)とは、中国の陰陽五行説にちなんだ「青・赤・黄・白・黒」の五色。古代中国の「木・火・土・金・水」の五つの要素が、この世のもの全ての根源であるという説で、「木=青・火=赤・土=黄・金=白・水=黒」を表しています。

●○花火○●

火薬と金属の粉末を混ぜて包んだもの。火を付け、燃焼・破裂時の音や火花の色、形状などを観賞する。火花に色を付けるために金属の炎色反応を利用してあり、混ぜ合わせる金属の種類によって様々な色合いの火花を出すことが出来る。(原則、野外での使用。)多くの場合は、火薬が爆発・燃焼した時に飛び散る火の粉の色や形を楽しむ。ロケット花火やヘビ花火、パラシュート花火のように燃焼以外を楽しむものもある。日本では、夏の夜の風物詩とされている。一部の自治体では大規模な花火の打ち上げを「花火大会」と称して行っている。時期は7・8月に集中する。



この花の名前は? マツバボタン/スベリヒユ科



南アメリカ原産の一年草。葉は多肉で、高温と乾燥に対して非常に強い。世話のほとんど不要なくらい丈夫である。こぼれ種でもよく繁殖する。開花期は6月~9月頃。観賞する為によく栽培される。色は白・黄・赤・オレンジ・ピンクなどで八重味の品種もある。

Wikipedia より

◇◆御中元◆◇

本来は旧暦7月15日だが、日本では新暦7月15日または8月15日とされる。この頃に、お世話になった人々に感謝の気持ちを込めて贈り物をする。この習慣を御中元と呼び、季節の挨拶の一つ。贈る相手については難しく考える必要はないが、一般的には離れて暮らしている両親や親戚・会社の上司や恩師の先生などが多い。但し、毎年続けて送る場合が多いので範囲を広げても大変である。相場は3千円~5千円位と言われている。お世話になった度合いによって変わるが高額過ぎても相手の負担になるので気を付けた方が良いでしょう。贈る時期については、以前は東日本と西日本で違いが見られたが、最近は地方に関係なく7月の中頃までに贈るのが一般的になりつつあるようだ。

◆◆今月の祝日◆◆

≪7月18日:海の日≫ 1995年(平成7年)に制定され翌年から施行された日本の国民の祝日の一つ。制定当初は7月20日だったが、祝日法改正により7月の第3月曜日となった。「海の恩恵に感謝するとともに、海洋国日本の繁栄を願う」ことを趣旨としています。世界の国々の中で、「海の日を国民の祝日としている国は唯一日本だけという。

知って得する 知恵袋

白内障と緑内障

名前は似ているが、全く違う目の病気。目の水晶体が白く濁って視力が低下する白内障。視神経がおかされて視野が欠ける緑内障。目のレンズと言われる本来は透明な水晶体が濁ると、光が散乱して正しい像を網膜に結べなくなる。白内障の多くの原因は加齢。房水という液体が目の中を循環することで眼球の圧力は適正に保たれている。うまく流れなくなり眼圧が上がると視神経を圧迫、視野が狭くなる。手術で視力回復できること多い白内障に比べて、緑内障はより深刻である。